

学校教育自己診断結果データ分析（令和7年度）

1. 自己診断配付数及び回答数

令和7年度回答人数

| | 校長 | 教員 | 生徒 | 保護者 | 合計 |
|----|-----|-----|------|------|------|
| 配付 | 1 | 71 | 1068 | 1068 | 2208 |
| 回答 | 1 | 71 | 987 | 482 | 1541 |
| % | 100 | 100 | 92.4 | 45.1 | 69.8 |

2. 観点別肯定的回答割合

| | R7年度 |
|--------------------------|--------|
| 【保護者】 | 肯定率(%) |
| ①学校に対する意識に関するもの | 87.6 |
| ②学習指導に関するもの | 74.4 |
| ③生徒指導、児童・生徒理解に関するもの | 87.3 |
| ④進路指導に関するもの | 87.0 |
| ⑤いじめに関するもの | 88.6 |
| ⑥道徳教育・人権教育に関するもの | 89.1 |
| ⑦情報提供に関するもの | 85.3 |
| ⑧学校教育への参画に関するもの | 93.9 |
| 【生徒】 | 肯定率(%) |
| ①学校に対する意識に関するもの | 89.6 |
| ②生徒指導に関するもの | 86.2 |
| ③進路指導に関するもの | 97.4 |
| ④いじめに関するもの | 96.3 |
| ⑤教育相談に関するもの | 78.5 |
| ⑥道徳教育・人権教育に関するもの | 90.2 |
| ⑦特別活動、学校行事等に関するもの | 97.2 |
| ⑧学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。 | 94.8 |
| 【教員】 | 肯定率(%) |
| ①学校組織に関するもの | 91.5 |
| ②教育活動の改善に関するもの | 87.3 |
| ③生徒指導に関するもの | 90.1 |
| ④進路指導に関するもの | 87.3 |
| ⑤いじめに関するもの | 94.4 |
| ⑥教育相談に関するもの | 94.4 |
| ⑦特別活動、学校行事等に関するもの | 95.8 |
| ⑧保護者への情報提供に関するもの | 90.1 |

3. 分析

【学習指導】生徒の「授業内容は自分の学習や発達に役立っている」は92% [94%]、保護者は「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている」74% [70%]、教職員は「教員間で授業方法等について検討する機会を積極的に持っている」は93% [89%]であった。生徒の「質問に丁寧に教えてもらえる」97% [97%]も非常に高く、「学習意欲が向上する講演・行事がある」83% [80%]も上昇している。今年度も校内での授業見学期間を2回設け、研究授業も実施した。今後も生徒の学力向上及び授業の質向上につながる取組みを実施してまいりたい。

【進路指導】生徒の「将来の進路や生き方について考える機会がある」97% [97%]、保護者の「進路について適切な指導を行っている」87% [86%]、教職員の「生徒一人ひとりの進路選択にきめ細かい指導を行っている」は94% [92%]と高い水準であった。次年度も、さらなる情報提供・連携に努め、生徒・保護者の進路希望を叶えるよう努めていく。

【生徒指導】保護者の「生徒指導の方針に共感できる」は87% [85%]、生徒の「先生の指導には納得できる」は86% [86%]、教職員の「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている」は90% [89%]であった。生徒の「先生は悩みや相談に親身に応じてくれる」95% [95%]教職員「教育相談体制が整備されている」が94% [87%]であり、いじめへの対応の肯定的評価は生徒96% [96%]保護者89% [87%]教職員94% [93%]も依然として高い。次年度以降も引き続き生徒の声を受け止め、主体性を育てる生徒指導を行っていく。

【学校運営】上記のほか、GLHSとして力を入れている課題研究に関しては、生徒は「授業で考えをまとめたり発表する機会がある」93% [94%]「課題研究・フィールドワーク・研修旅行は学力育成に役立っている」90% [87%]、教職員は「課題研究は生徒の学力向上に寄与」85% [82%]という結果であった。また、本校の学校行事に関しては、生徒は「文化祭・体育大会・修学旅行等の学校行事は楽しく工夫されている」97% [97%]「ホームルーム活動や行事にクラス全体で取り組んでいる」96% [97%]、保護者は「子どもは学校行事に積極的」94% [93%]、教職員は「学校行事が生徒にとって魅力あるよう工夫・改善」96% [93%]と、非常に肯定率が高いことも特徴である。生徒の「豊中高校に入学してよかった」は94% [92%]である。この肯定率が100%に近づくよう、今後も本校の特長的な活動を大切に、学校の魅力を発信していきたい。